

# *Kazuki Hiramine*

## Race Report

Date : 2017 年 10 月 8 日 Event : Super GT Round 7 Team : JLOC Class : 300 Class

Driver : Dr1 織戸学 Dr2 平峰一貴 Car : Lamborghini Huracan GT3 Circuit : Chang International

**Qualify 1 平峰一貴 P4 Time 1`40.046 Qualify 2 織戸学 P7 Time 1`39.803**

路面は、まだウェットコンディション。ただ、早く乾けばスリックタイヤで行けそう？非常に悩ましいコンディションした。僕らはウェットタイヤを選択しアタックを行った。チームの的確な判断もあって4番手でQ1を通過して織戸選手にQ2を託した。路面も更に乾いてきて、難しい状況の中で織戸選手が7番手のタイムをマーク。決勝に向けて勝負出来る位置からのスタートとなった。

僕らだけではなく、他チームもかなり慌しい状況でした。そんな中で冷静かつ的確な判断でコースへ送り出してくれたチームに感謝です！

### Race Finished P5

スターティンググリッドで何度か激しい通り雨が降りました。各チーム、ざわざわしていて本当に面白かったです。路面は完全に濡れているけれども、前車走ると直ぐに乾きそうな路面でした。僕らは周りと合わせてウェットを選択し織戸選手がスタートを担当。スタートして路面はどんどん乾き始めて、織戸選手は最後までタイヤを持たせてミニマムでピットインし僕に交代。ドライバー交代、給油そしてタイヤ交換を素早く済ませてピットアウト。実は、僕のステイントが来る前に勝俣エンジニアから「40周は行くから、タイヤマネジメントして最後までお願いします。」と指示がありました。序盤は少しペースを落とし、タイヤと相談して常に無線で情報を聞きながら周回を重ねつつペースを上げて行きました。最後は6番手を走行中に前の車両にトラブルがあり、5位でフィニッシュ。

### Summery

鈴鹿に引き続きしっかりポイントを持ち帰れました。暑い中、常に的確な判断をして指示をくれたチーム、素早いタイヤ交換、一緒に熱い走りが出来た織戸選手、そして最後まで応援して頂いたスポンサー様をはじめとする、全ての皆様に感謝です。本当に有難うございます。今大会に向けて肉体的な準備をしてきていたのですが、体力面では全く問題なく走れました。次戦は今年で最後となる Super GT Round8。必ず勝って今年を締めくくりたい！引き続き熱い応援を宜しくお願いします！



